



20年度工事の実施状況を確認する小貫春夫代表監査委員

決算審査の結果

平成20年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものとして認められた。

審査のむすび

当町の財政状況は、東京電力㈱広野火力発電所にかかる固定資産税が年々減少し、財政力指数は前年度に比べ、0.134ポイント低下しています。

今後は減少する税収を見すえ、平成20年度の政策や施策の結果を検証するとともに、継続が必要な事業や町民のための優先事業等を見極めていかなければなりません。

また、年々増加している収入未済額については、その解消に向け、英知を集めて努力されることを望みます。

47億円

— 収入未済額、3
(税金等の滞納など)



討論の末 10対1で認定

反対 畑中 大子議員

資格証明書の発行や差別医療に反対する

一般会計歳入歳出決算には、国民健康保険および後期高齢者医療といった特別会計への繰入金等が入っています。

私は国民健康保険の資格証明書の発行や75歳以上の方を差別する後期高齢者医療制度に反対する立場から、決算認定に反対します。

平成20年度一般会計決算認定

賛成 中津 伸一議員

適正に執行されているなら賛成すべきだ

決算認定は、われわれが承認した予算が適正に執行されているかどうかを確認するものです。

適正に執行されている以上、反対しても何の効力もないわけですから、きちんと指摘すべきところは指摘して、賛成すべきです。

平成20年度の歳出決算

の成果を認定

年連続で2億円を上回る —



広野小学校5年生による稲刈り体験

平成20年度決算のあらまし

一般会計の歳出決算は、約34億4,849万円、特別会計は、国民健康保険など7会計合わせて約12億6,733万円となり、合計約47億1,582万円余の歳出決算となりました。

19年度と比べて、約16.8%減少しています。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約2億6,992万円上回る、約49億8,575万円となりました。

しかしながら、一般会計と7特別会計を合わせた収入未済額（税金等の滞納など）については、前年度より2,458万円も増加し、3年連続で2億円を上回りました。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な縮減が求められます。



平成20年度一般会計決算認定採決のようす